

奈弓連だより

通巻 239 号

令和4年1月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 西中 正
編集担当 松澤和実 中西省五
連絡先：henshu@narakyudo.jp

会長年頭所感

感染症対策を講じ、皆様が元気に力強く活動できる場を 共につくりましょう

奈良県弓道連盟 会長 西中 正

明けましておめでとうございます。連盟会員の皆様には、新型コロナウイルス感染の収束を願いながら新年を迎えられたことと思います。昨年度は行事の中止、延期、制約のある活動についてご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

令和4年射初会は、安全対策を講じながら開催することができました。昨年同様、競技性はなくし、コロナが終息して皆様のご健康で過ごせ、楽しく弓道活動ができることを願い、皆様とともに肅々と一手の祝射をいたしました。

昨年は行事変更が多々あり、戸惑いの中の1年だったと思いますが、審査会で八段1名、教士1名、六段1名、錬士8名、五段11名と多くの方が昇段昇格されました。おめでとうございます。日頃の精進のたまものだと嬉しく思います。

今年度は役員改選の年で、射初会後の臨時評議員会において、会長として5期目を務めさせていただくことになりました。また、副会長として20年間ご尽力くださった深田紀美子氏を顧問に、副会長に松村由喜子氏が新任されました。松村氏には審査部長との兼任をお願いすることになりました。新しい体制で、これからも奈良県弓道連盟が力強く活動して行けるよう努力してまいります。

昨年末の12月22日、全国地連会長会議がZOOMミーティングで実施され、阪中理事長、藤岡事務局長同



願いをこめた一手(射初会にて)

席で参加しました。令和4年度の活動について全日本弓道連盟・近畿連合会、そして地連は、引き続き基本的な新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、大会や事業を実施していくとの方針が示されました。しかし、新年を迎えてオミクロン株が猛威を振るい、年間計画の変更を余儀なくされる懸念をぬぐえません。そのような中ですが、令和4年度は6年に1回、近畿の行事の主幹が奈良県に回ってくる当番の年でもあります。コロナ禍の終息がまだ見通せない中、計画の変更も見据えながら、感染拡大防止対策を講じ、様々な工夫をしながらの運営になります。県連会員の皆様の御努力、御協力をお願いいたします。新型コロナウイルスに負けない活動をしていきたいと思っております。会員の皆様、ご家族様が、健康でお元気に過ごされることを願いながら年頭の挨拶といたします。

2021 年度全国大会入賞者

選手の皆様、おめでとうございます！

- | | | | |
|-------------------|--------|----|--|
| ・第72回全日本弓道大会 | 有段者の部 | 3位 | 山口亮二 (生駒) |
| ・第66回全国高校弓道大会 | 女子団体の部 | 4位 | 郡山高校
馬原美月 塩野天音 玖山陽菜
有持笑子 森山まこと 小谷花野子 |
| ・第40回全国高等学校弓道選抜大会 | 男子個人 | 3位 | 的場秀和 (青翔高校) |

令和3年度12月地連審査、ビデオ審査 四段に4名が合格

12月19日(日) 榎原公苑弓道場に於いて、審査会が行われました。12月審査会はロート奈良弓道場との2会場で行う予定でしたが、申込が少なく、榎原会場に集約して実施しました。

今回も学科審査で内容が乏しい解答がありました。昨年からの学科審査はレポート形式になっております。教本をよく読み、じっくりと取り組んで提出頂きたいと思えます。

審査結果は次の通りです。

級位	受審者 13名	1級査定 11名、2級査定 2名
初段	受審者 11名	合格者 11名
弐段	受審者 14名 (欠席1名)	合格者 11名
参段	受審者 20名	合格者 2名
四段	受審者 23名	合格者 4名

令和3年度12月ビデオ審査査定結果は次の通りです。

級位	受審者 10名	
		1級査定 5名、2級査定 3名、現級 2名
初段	受審者 21名	合格者 18名
弐段	受審者 1名	合格者 0名

まだまだコロナウイルス感染が続いております。運営は今後もなお一層感染防止を心掛けていきます。

(審査部 松村由喜子)

昇段おめでとうございます

12月地連審査会において次の方々が昇段されました。

(12月19日開催 榎原公苑弓道場)

四段

勝田	さや佳さん	(郡山支部)
久下	愛さん	(郡山支部)
仲倉	牧子さん	(榎原支部)
江浦	至希子さん	(郡山支部)

おめでとうございます。(事務局)

奈良県弓道連盟 新年射初会 静寂の中、息合いと調和の美を感じる

令和4年1月9日(日)、榎原公苑弓道場において新年射初会が行われました。昨年はコロナ禍の中ではありますが、万全の対策を整えた上で中央審査・連合審査、全国大会が、通常とは異なった形でしたが開催され、奈良県から多数の昇段昇格者が出ました。そのため、今年は射礼と昇段昇格者による演武を中心とした内容で開催致しました。

まずは名誉会長による巻藁射礼が行われましたが、静寂で凍とした空気の中に響き渡る矢声は疫病を退散させる気迫が感じられました。続いての特別演武では顧問・会長・副会長による一つの立射礼と持的射礼が行われ、改めて息合いの大切さそして調和の美の美しさを実感致しました。その後は昇段昇格者による演武、そして一般会委員による演武(各一手1回)で締めくくられました。

【巻藁射礼】

射手	奈良県弓道連盟名誉会長
	範士九段 吉本清信
第一介添	錬士六段 松村由喜子
第二介添	錬士六段 佐藤峻



吉本名誉会長による巻き藁射礼
下段:ヤアッの声が聞こえてくるようです

【特別演武】

◎一つの立射礼（奈良県弓道連盟 会長・副会長）

教士七段 藤岡順
教士六段 阪中計夫
教士七段 西中正



会長 副会長による一つの立射礼

◎持的射礼（奈良県弓道連盟 顧問・副会長）

教士七段 新司正人
教士六段 明瀬憲正
教士六段 深田紀美子
教士七段 竹村邦夫



顧問 副会長による持的射礼

【昇段昇格演武】

◎五段昇段者

福本幸代（橿原）
吉川憲康（郡山）
脇阪佳工（香芝）
坂 美智代（生駒）
秋山和人（生駒）
腰越和雄（錬弓会）
前川なつき（橿原）

◎錬士昇格者

坂本美智子（奈良）
原田温美（橿原）
揚田よう子（奈良）
原田祐介（橿原）
中西康馨（奈良）
林 秀子（橿原）
釜谷和恵（郡山）

◎六段昇段者

安住奈津子（郡山）

【各支部一般会員による演武】

（競技部 西田ゆり）

大和神社御弓始祭

心をひとつに 静かな祈りの時

新春恒例の天理市の大和（おおやまと）神社の御弓始祭が1月4日に行われました。

この行事は、昭和26年ころから奈良県弓道連盟・奈良菱友会（小笠原流門人会）が奉仕しており、お宮の伝統行事として広く知られております。

本年も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながらの執行となりました。当日は天候にも恵まれ、神事後、五穀豊穰・天下太平・コロナ退散を祈り行射が行われました。

最初に、的皮にすべての魔・邪気を集め、それらの魔を鏑矢の音で祓うという「墓目の儀」が執行されました。今年の射手を務めさせていただき、厳かな雰囲気の中、「ヒュー」という矢音が響き、場が清められました。

静かな祈り 皆が思いを寄せる



続いて、宮司が一手を引かれ、年預さんと呼ばれるお宮の役員さんが3名、袴の衣装で一手ずつ大的に向かい矢を放たれ、的裏に潜む魔性退散に努められました。

その後、天理南中学校の弓道部員の13名が、5人（4人）ずつ大的に向かい的中を重ね、家族や学校関係者から大きな声援を受けながら無事執行されました。

最後に、県弓道連盟と奈良菱友会の会員で女子5名が前弓として、男子5名が後弓として弓を引き、射手を含め総勢23名で百手式が執行されました。

百手式をはじめ古式弓道は、足さばきなど現在弓道と異なるところも多く、すぐに出来るとは限りません。射手を務めるには、場の流れ、所作の方法等経験が必要になってきます。興味のある方は、是非参加していただき、伝統行事を引き継いでいただきたいと思います。

（副会長 深田紀美子）

布目 108 箭射会

想いを胸に 自己の射に集中

大晦日の 108 中射会は、布目道場の稽古の一年を締めくくる恒例の行事です。コロナ感染症の流行で昨年未は中止、今年も残念ながら、変異株流行の兆しが見えだしたため、感染対策を優先し 108 中射会は見送り、矢数を絞った 108 箭射会をもって稽古納めとなりました。12 月 31 日の午後 1 時に参集した射手は 9 名です。矢振りのあと、三人立坐射の演武を開始、射場は気迫に満ちた弦音が響きました。午後 3 時前に 108 射の演武は終わり、最後に吉本先生による一手納射をもって射会は滞りなく終了しました。

今年の射への想いが充実だったか反省であったかは射手夫々の胸のうちに各様ですが、ひたすら自己の射に集中する 108 箭射会は等しく今年の稽古を締め括るにふさわしい場になったと思います。今年参加者が少なめだったこともあり、道場に間隔をとり車座に座っての小休憩、しばしですが和やかな懇談の時間が取れたのも嬉しいことでした。

天候も大寒波の気象予報にも拘わらず、布目は時折雪が舞うも陽ざしがこぼれ、大晦日としてはまさに弓日和、弓を愛でる神様の粋な計らいがあったかもしれません。少し冷え込みが厳しくなってきた午後 4 時前に山添村をあとにしました。

(眞鍋征史)

第3回 シャープ・布目・石打 合同新年射会 楽しくも、様々な検証すべき課題をいただく

1 月 8 日 (土) 布目弓道場 (英明館) で開催しました。シャープ弓道部三役による矢渡しの後、矢振りによる立ち順で、皆さんに奉射していただきました。その後は、新年の余興的 (金的・絵的・射割り) で楽しみました。金的を手に入れたのは、吉本先生と西浦先生。射割りで、板の裏に細工をしておいた花吹雪が綺麗に散ってくれたのには、皆さんに感動していただきました。休憩を挟んで、有志による、持的射礼 (原則の間合い) ・一つの射礼を行い、吉本先生・西浦先生に講評を頂きました。(ある意味一番のご褒美でした)。日頃、一緒にやる機会のないメンバーで行うことで、間違いの気付きもあり、新しい発見も得られました。ただ、吉本先生の講評で「合っていて、卒なく行っているのだけど、何か気に入

らないな」の一言は、謎に包まれた一言で、今後、検証・研鑽すべき課題領域なのでしょうか。

最後に、納射を決める風船的。早く当てた順にあみだくじの場所を選び、そのくじで射手、介添え 2 名が決まり、今年は榎原の小西さんが射手を務めることになりました。小西さんは立射です。立射の場合の介添えはどうあるべきか、また、立射での襷裁きの見直しとか、全体を通して、様々な検証すべき課題が出てきた有意義な射会でした。



納射 第一介添えが矢を渡す場面

最後に、吉本先生・西浦先生に今年一年に向けての言葉を頂き、楽しいひと時が終了しました。

追) 弓ってやっぱり残酷で、普段的中のある人が、余興的から、風船的と次々に落としていく。

やっぱり、中らないと話になりませんね。



(シャープ支部 工藤裕章)

1 月 15 日 (土) に県連的貼りを行っていただきました。ありがとうございました。これからも皆様のご協力をお願いします。



榎原にて 50 個の的貼り

編 | 集 | 後 | 記

本年もよろしく願いいたします。少しずつ日常を取り戻せると思っていた中、オミクロン株の流行により、再び活動が制限される流れになりそうです。会長のお言葉にもあるように、奈弓連だよりを通して、奈良県はこの状況に負けずにいることを発信していきたいと思っています。(編集担当 中西省五)